

公共施設あり方検討の取り組みをお知らせします②

市内の公共施設は経年による老朽化、市民ニーズの変化など、さまざまな課題を抱えています。かぎられた財源、資産をより有効に活用していくため、「公共施設あり方計画」の策定を進めています。今回は、高浜市の公共施設の現状と課題のポイントと「公共施設あり方計画」策定の必要性についてお知らせします。

高浜市の公共施設をとりまく”現状”と”課題”

①人口

高浜市の人口は、現在、ゆるやかな増加傾向にありますが、少子化・高齢化の伸展による年齢構成の変化が見込まれています。また、増加傾向は、地域によって差があります。

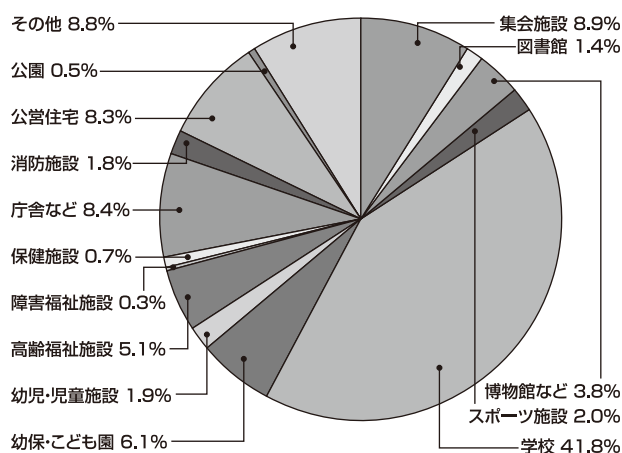
②財政

現在保有しているすべての公共施設を更新すると仮定した場合、今後40年間の更新費用の総額は522.5億円であり、1年あたり約13億円が必要となります。

直近5年間の公共施設に係る投資的経費(*)は、平均約2.5億円/年のため、5倍以上の額が必要となる試算結果となっています。

*投資的経費…公共施設の建設・整備など、将来にわたる資産形成のための工事や用地取得にかかる経費のこと。

【総延床面積の内訳】



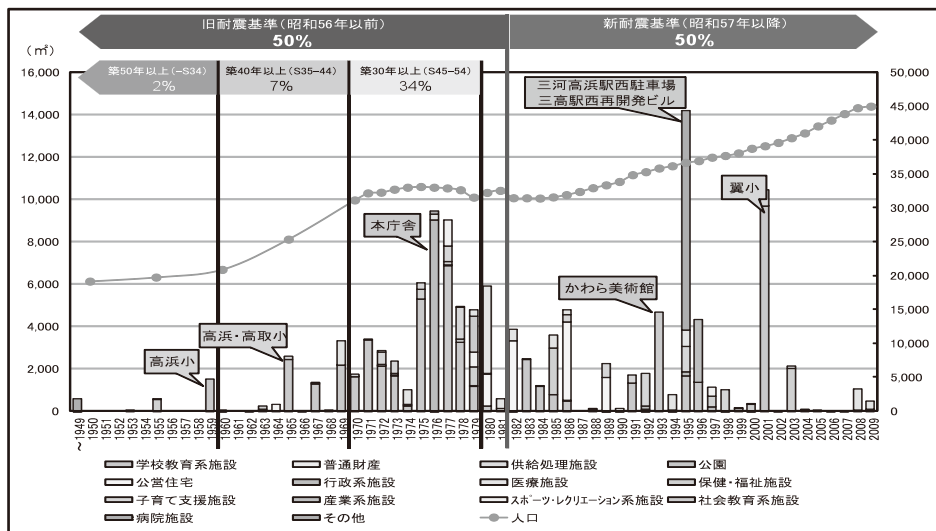
③施設

総延床面積で、約12.6万㎡を保有しています。内訳は学校施設が最も多く、約42%を占めています。

また、全体の約43%が築30年以上を経過しています。中でも学校施設は、74%が築30年以上を経過しています。

詳しくは
市公式ホームページで
紹介しています。

【築年別整備状況】



「高浜市公共施設あり方計画」策定の必要性

行政サービスへの影響を避けるため、公共施設の更新の波が訪れる前に、中・長期的な視点に立って、公共施設の今後の方向性を示す「公共施設あり方計画」を策定する必要があります。

今後、市民の皆さんと公共施設の現状や課題を共有しながら、総合的な視点に立ってかぎられた資源を効果的に活用するなどの検討を進めます。



問合せ先 経営戦略グループ ☎52-1111 (内線375)